

わんぱく学園ニュース

平成13年1月 No.79

なんとなく2月になってしまうぞ

もう明日からは2月です。早いものですね。冬休みが終わって約1か月、その間なにやらバタバタしているうちに1月は終わろうとしています。

2月になると、そろそろメバルも美味しくなり始めますが、この寒い中、魚つりに行く元気はありますか。

さてさて、今回は1月28日の粘土遊びの時の様子をお知らせします。

この日、集まってくれた友だちは女の子2人、男の子3人、それに大人が5人でした。安食さんから粘土を分けてもらい、さっそく作り始めたのですが、なんとある男の子はロクロを使って、ものも十分にたたぬうちに、もう茶碗のような壺のような物を造ってしまいました。あまりの早業にみんなびっくりでした。

おもしろかったのは原幸枝さんの作品ができる過程でした。原さんはあらかじめ「建水」(茶道で使う水こぼし)を造ろうと以前から思っていたらっしゃったみたいで、取り掛かりも早く意欲満満でしたが、なかなか思いど通りに粘土の方が命令を聞いてくれないみたいで、悪戦苦闘です。粘土をいじればいじるほど、だんだんと口は広がるばかりです。「バケツを作っているの？」という、みんなの声にも動ぜず続行ですが、やはりなかなか世間一般に通用する建水の

ような形にはなりません。

こんな時、やっぱり頼りになるのは安食さんです。それまで原さんが丹念に作っていた物(物どししか言いようがないもの)を、いきなり床にたたき付けて粘土を平たく伸ばした状態にしてしまいました。

自作の水差しに布をかぶせ、その上を伸ばした粘土で覆ってしまうと、アラ不思議 もう建水の出来上がりです。周りをちよいちよいと修繕して、原さんも大いに満足の作品の出来上がりでした。

みんなが造っているのに並行してブタ汁を作っていましたが、それもできたので、みんなで食べることにしました。材料はみんなが持ち寄ったものでしたので、白菜や大根、里芋、人参がたっぷりに入ったとてもヘルシーなものでした。美味しかったので、3杯も食べました。

大きな鍋で大量に作り、みんなでわいわい言いながら食べる鍋は、また格別な味がします。どうですか、みなさんもこの鍋だけでも食べに来ませんか。

さて、2月の予定です。

2月 4日 9時集合	旅伏山へ登ります。おやつや水筒があるといいと思います。
2月11日 9時集合	寒さに向かって、無謀にも魚つりに挑戦してみましよう。寒さ対策を十分にして集まりましよう。
2月25日 9時集合	粘土あそびと鍋料理 鍋に入れられそうなものを持ってきてください 魚、肉、野菜、うどん、もち等

2月18日は、都合がつかないので中止にします。

集合時間は9時、集合場所は光人塾前の駐車場です。